

## ○大沢野地域上下水道事業に関するタウンミーティング議事録

日 時：令和7年8月23日（土）  
午前10時～11時30分

場 所：大沢野会館

出席者：27人

### 【上下水道事業管理者からの説明】

#### 【意見交換会】

・物価も上がっていますが、国の補助金は過去と比べて増えていますか。

（上下水道事業管理者）

今年の6月に国が定めた国土強靱化計画では総額が約20兆円となっており、前計画と比較すると約5兆円増額となっています。

・能登半島地震による被災施設の復旧状況はどうなっていますか。

（上下水道事業管理者）

市内では水道施設は大きな被害はありませんでした。下水道施設においては、新庄や綾田地内で、下水道管の蛇行やマンホールの浮上がありました。令和7年度中に全て復旧予定です。

・先日、下水道管の点検に入った作業員4人が亡くなるという悲惨な事故がありました。富山市でも業者が行っているのでしょうか。

(上下水道事業管理者)

調査は専用カメラなどの機材を使って行うことから、富山市も専門業者に委託しています。下水道管の中は硫化水素が発生しやすいため、この事件を受けて委託業者にはガス濃度の確認など安全を確保して点検するようお願いしています。

・業者の数が減っているのは、行政からの発注数が減っているからですか。

(上下水道局事業管理者)

一般的に公共工事が昔と比べて減ってきているといわれていますが、事業者数が減少した理由としては、後継者不足や必要な人員を確保できないことなどが大きな理由ではないかと考えています。

※発言の一部を整理して掲載しています。(上下水道局経営管理課)